

第19回オーライ！ニッポン大賞募集要領

1 募集の目的

(1) 新型コロナウイルスの影響により、一見、都市と農山漁村の人の流れは細々としてしまったかのように見えます。しかし、都市住民のゆとり、やすらぎ志向による農林漁業体験、農山漁村交流へのニーズは心のつながりがある限り、絶えるものではありません。一方、高齢化・過疎化が進行している農山漁村地域では活性化への願いが消えることはなく、他方、コロナの影響が鎮まれば、都市と農山漁村に住む双方の人々の交流を活性化し、自然にふれあう充実したライフスタイルを人々が実践する都市と農山漁村の共生・対流の取り組みを求めるニーズは充満しています。「都市なくして農山漁村の安定なし、農山漁村なくして都市の安心なし」都市と農山漁村が互いに信頼しあいながら助け合う心の結びつきが、これを支え続けているからです。

都市と農山漁村の共生・対流推進会議では、「都市側から送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を生かした受入側の活動」を実践している方々(オーライ！ニッポン大賞)や、Iターン等により農山漁村において個性的で魅力的なライフスタイルを実現している方々(ライフスタイル賞)を表彰するとともに、優れた取組事例を幅広く普及することで、各地における共生・対流に向けた様々な活動を一層促進することを目的に「オーライ！ニッポン大賞」を実施します。

(2) 近年、各地を襲う自然災害の多発に対して、被災地の復興支援のボランティア活動をきっかけとして当該地域の活性化に発展した例や田園回帰・関係人口(自分のお気に入りの農山漁村地域に定期的に通う、あるいは頻繁に通わなくても何らかの形で農山漁村地域を応援してくれるような人たち)を創出するような取り組みが見られ、これらも評価していきます。また、今般の新型コロナウイルス感染症では、やむをえず、都市農村交流事業や農山漁村体験学習の機会の中止、延期をされた地域もあるため、対前年比を大幅に下回る交流事業成果であっても過去の実績を考慮しての評価や新たな活動への着手など将来に期待する活動も評価することとします。

2 主催等

- (1) 主催 オーライ！ニッポン会議(都市と農山漁村の共生・対流推進会議)
- (2) 協賛 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
- (3) 後援(予定) 総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、
一般社団法人日本経済団体連合会、全国知事会、全国市長会、全国町村会

3 募集の対象

募集対象は、「オーライ！ニッポン大賞」(団体・個人)と「オーライ！ニッポン ライフスタイル賞」(個人)の2種類です。

(1) オーライ！ニッポン大賞

都市と農山漁村の共生・対流に関する取り組みのうち、「都市側から人を送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を活かした受け入れ活動」等を通じて、都市と農山漁村の共生・対流

の拡大に寄与した実績、効果及び持続性の高い団体又は個人を募集の対象とし、次の3部門を設定します。

(部門は複数重複して応募可)

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、都市農村交流事業や農山漁村体験学習についても、やむをえず中止、延期となっているところがあります。このため、直近年は対前年比を大幅に下回る交流事業成果であっても、それ以前の過去の実績を考慮して、評価することといたします。

また、このような厳しい状況下にあることに鑑み、将来を見据えた新たなオンラインによる都市農村交流や関係人口創出、さらにコロナ禍において注目されている、農山漁村地域でのテレワーク、サテライトオフィス、休暇を取り入れながらテレワークするワーケーション、SDGs等、時代に即した新たな取り組みにチャレンジされている活動も評価することといたします。

ア 学生若者カツヤク・都市のチカラ部門

- ・主に30代くらいまでの若者の活躍によって推進されている活動や主に都市側からの働きかけによって推進されている活動
- ・例えば、棚田保全や棚田の活用など地域と連携して取り組む活動など。
- ・想定される応募主体は、大学、小中高校、各種学校、子ども会、クラブ活動、サークル、ボランティア組織、NPO、学生ベンチャー企業、都市側の企業、自治組織、市町村、学校等等（法人格の有無は問いません）

イ 交流イノベーション部門（コロナ禍での工夫等）

- ・新型コロナウイルス禍により、新たにはじめられた農山漁村支援の取り組み
- ・関係人口創出に向けた新たな取り組み（関係人口とは、自分のお気に入りの農山漁村地域に定期的に通う、あるいは頻繁に通わなくても何らかの形で農山漁村地域を応援してくれるような人たち）
- ・起業、創業等農山漁村を舞台に都市との交流の取り組み
- ・その他、これまでにない都市と農山漁村の交流やライフスタイルを推進すると取り組み

ウ 元気な農山漁村部門（法人格の有無は問いません）

- ・主に農山漁村側からの働きかけによって推進されている活動
- ・想定される応募主体は、農山漁村側の企業、NPO、ボランティア組織、自治組織、市町村、学校等

(2) オーライ！ニッポン ライフスタイル賞

都市部から移住したUJIターン者もしくは都市と農山漁村を行き来する二地域居住者等のうち、農山漁村地域において共生・対流の活動に取り組みながら、魅力的なライフスタイルを実践している個人を募集の対象とします。

個人による共生・対流の活動の具体例を参考として次にお示しします。

- ・農山漁村地域における交流体験イベントや環境保全活動の企画運営、地域文化の継承創造、市民農園の開設及び古民家の発掘斡旋等を通じて、移住者や交流人口の増加に貢献
- ・地域資源活用のビジネス（民宿、レストラン、体験ビジネス等）を起業し交流人口や雇用の増加に貢献
- ・農村を舞台に、農業を営むことと、他の仕事を両立させる「半農半X」という新たなライフスタイルを展開している者など

4 表彰の種類及び副賞 表彰の種類及び副賞は次のとおりです。

表彰の種類	件数	副賞
オーライ！ニッポン大賞グランプリ（内閣総理大臣賞を申請予定）	1件	15万円
オーライ！ニッポン大賞	3件程度	5万円
オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞	数件	3万円
オーライ！ニッポン ライフスタイル賞	5件程度	3万円

副賞（賞金）は、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構から贈呈されます。

5 審査の方法

(1) 学識経験者などで構成される審査委員会において、応募書類にもとづく書面審査によって行います。審査は非公開とし、審査の経過や審査結果に至った理由等に関する問い合わせには応じないものとします。

(2) 審査の基準

各賞の審査の基準は次のとおりです。ただし、学生・若者カツヤク部門、交流イノベーション部門や、震災等の災害からの復興に関する取り組みは、継続性において活動期間の短さ等を理由に不利にならないよう配慮します。

①オーライ！ニッポン大賞

新規性	農山漁村地域を舞台に新ライフスタイルの提案、普及の取り組みや <u>コロナ禍での工夫したこと</u>
独自性	地域固有の資源や個性を活かした、オリジナリティ豊かな取り組みであること。
持続性	法人化や収益向上等により持続性の高い取り組みであること。
モデル性	他地域への応用や波及が期待できるモデル性の高い取り組みであること。
効果性	農山漁村地域を活性化する効果があり、今後も効果が持続して発現すると見込まれること。
社会性	地域の内外の多様な主体が参加連携し、地域の課題解決に取り組んでいること。

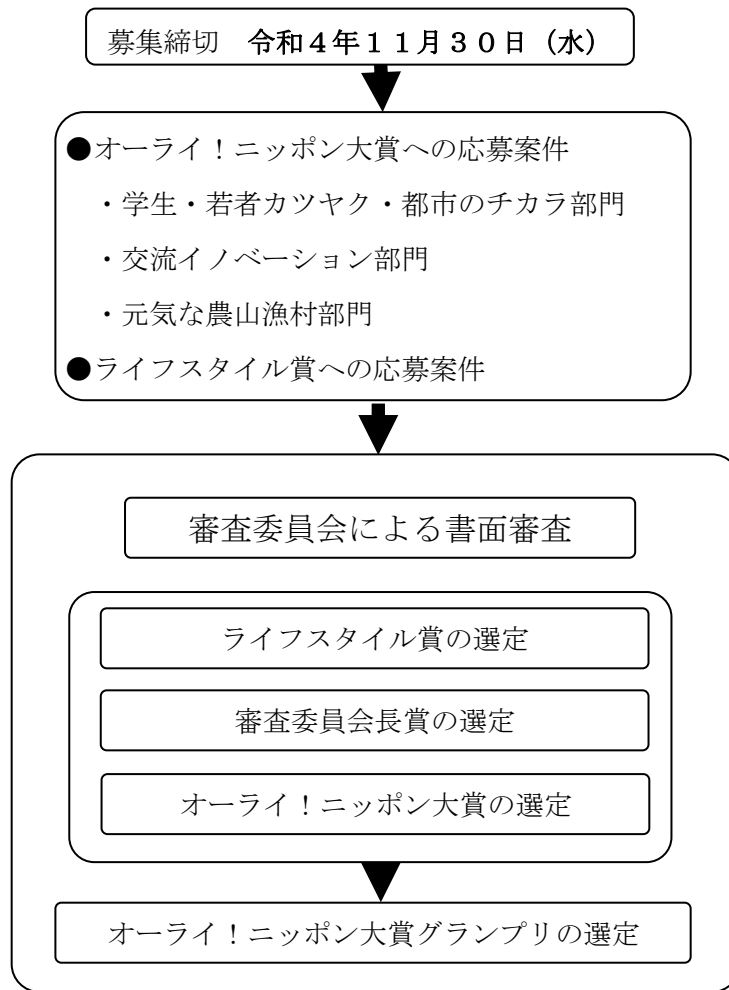
②ライフスタイル賞

新規性	農山漁村を舞台に新たなライフスタイルの実践や <u>コロナ禍での工夫したこと</u>
独自性	個性的で魅力のある活動であること。
継続性	新たなライフスタイルの実践に継続性があること。
モデル性	新たなライフスタイルが他の人の参考となるものであること

(3) 審査委員会委員（五十音順）

井上 和衛	明治大学名誉教授
岡島 成行	公益社団法人日本環境教育フォーラム会長
嵩 和雄	國學院大學 観光まちづくり学部観光まちづくり学科准教授
嵯峨 生馬	特定非営利活動法人サービスグラント代表理事
志村 格	一般社団法人日本旅行業協会理事長
長岡 杏子	株式会社TBS ホールディングス事業投資戦略局ライフスタイル事業戦略部部長
馬場 未織	NPO 法人南房総リパブリック理事長
平野 啓子	語り部・かたりすと・大阪芸術大学放送学科教授（オーライ！ニッポン会議副代表）
安田 喜憲	一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構理事長（オーライ！ニッポン会議副代表）

(4) 審査・選定の流れ



なお、審査結果の発表は、全応募者にメール等で連絡するほか、令和5年3月頃に、オーライ！ニッポン大賞ホームページ等でお知らせします。

(5) その他 ご提出いただいた応募用紙（添付の写真と参考資料を含む。）は、都道府県や後援団体に開示し、参考意見を求めることがあります。

6 応募の方法

応募用紙に必要事項を記入し、写真と参考資料を添付して、郵送・宅配・e-mailのいずれかの方法で事務局宛てにお送り下さい。なお、応募用紙（添付の写真と参考資料を含む。）は原則として返却をしませんのでご了承ください。

(1) 応募用紙の入手方法

応募用紙（word形式）はオーライ！ニッポン会議のWEBサイトからダウンロードして取得できます。インターネットに接続できない方には郵送またはファックスでお送りしますので事務局までご依頼ください。

(2) 写真について

応募用紙に添付する写真は、応募内容に関する具体的な活動の様子や実績が分かる写真をご用意ください。枚数は5枚程度に絞り込んでください。データでも紙焼きでも可能としますが、解像度の高い鮮明な写真で（データの場合は1枚当たりの容量が1MB～3MB程度）、活動の魅力が伝わるものをお送りください。ライフスタイル賞は、応募者本人が写っている写真を含めて下さい。

(3) 参考資料について

応募内容の様子が分かる資料を3点程度ご提供下さい。例えば、応募内容の補足、応募内容が紹介された記事、応募内容に関連するパンフレット、事業報告書（収支決算書を含む）または事業計画書（収支予算書を含む）等。コピーでもデータとしてお送りいただいても結構です。ただし、ページ数の多い報告書やデザイン重視のパンフレット等は事務局でのコピーが難しくなりますので、応募者において適宜必要な個所をデジタル化しご提供ください。

(4) 応募締切 令和4年11月30日（水）当日消印有効

(5) 応募に当たっての留意事項

- ・応募用紙等を e-mail でお送り頂く場合は、1回に送信する容量は4MBまでとしてください。4MBを超える場合は、複数回に分けてお送りいただくか、オンラインストレージサービス（ギガファイル便など）を使ってお送りいただくようお願いします。
- ・写真や参考資料をメールで送信できない場合は、その分を郵送・宅配でご送付下さい。
- ・応募内容が事実と異なる場合は、受賞を無効とする場合があります。
- ・表彰後に重大な法令違反や行政処分、本賞の受賞に相応しくない事象などが発覚した場合は、受賞を取り消すことがあります。
- ・過去に応募した内容の再応募も可能です。その際、前回の応募時に比べて活動内容が質的・量的に向上している場合は、応募用紙に具体的な向上の内容を記載いただくことをお勧めします。
- ・同じ地域（市町村や集落）から同時に複数の組織や個人が応募することも可能です。また、「オーライ！ニッポン大賞」に応募する組織の関係者が、同時に個人として組織とは別の内容で応募することも可能です。
- ・審査は原則として応募用紙に記載された内容を評価します。参考資料に記載されていても、応募用紙に記載が無いと評価されない場合がありますので、ご注意ください。
- ・受賞された場合、受賞者とその活動内容のご紹介、並びに「オーライ！ニッポン大賞」の活動目的である「都市と農山漁村の共生・対流」の幅広いPRのため、ご応募いただいた用紙の記載内容、添付写真、参考資料などをパンフレットや冊子、ホームページへの掲載等により、使用させて頂く場合がありますので、ご承知おきください。

(6) 個人情報の取得目的及び保護等について

個人情報については、第19回オーライ！ニッポン大賞の審査のため取得しており、ご本人の同意なく審査に関わりのない第三者に提供することはありません。主催者及び協賛者は、個人情報の保護に関する法に基づき、適正に個人情報を取り扱い、次に掲げる利用目的以外の目的外利用を行わないための措置を講じます。また、受賞された方で一般向け広報資材での記載につき、オプトアウトをご希望される場合には、8のお問い合わせ先にご連絡ください。

- ・応募内容に記載された内容に関し、応募者ご本人・ご家族、応募団体・企業等のご担当者や役職員の方に対して、活動内容の問い合わせを行うため
- ・オーライ！ニッポン大賞の審査の基礎資料としての利用のため

- ・ご応募いただいた方へ、表彰事業の日時等のご案内を通知するため
- ・受賞された方について、ご本人・ご家族、応募団体・企業等にご所属の方に、自治体関係者へ受賞された旨の告知を行うため
- ・受賞された方々について、「オーライ！ニッポン大賞」の活動目的である都市と農山漁村の共生・対流において、広く国民への広報PR資材に掲載するため

(7) 知的財産権等について

- ・提出された応募書類（添付の写真及び参考資料を含む。）についての著作権の移転は行いません。ただし、都市と農山漁村の共生・対流の幅広いPRのため、応募用紙にて使用許諾を確認頂いたものについては、パンフレット、冊子、ホームページなどへ掲載や報道機関等へ提供する場合がございます。
- ・応募書類（添付の写真及び参考資料を含む。）に関するすべての権利（著作権・肖像権等）は、応募者が処理したうえでご応募ください。これらの権利に関して第三者から異議や請求などがあった場合は、応募者の責任において処理していただきます。

7 表彰式

令和5年4月以降に開催（コロナウイルス感染状況によってはオンライン）する予定です。

受賞者の皆さんには、表彰式に出席するために必要な旅費1名分を主催者からお支払します。お支払は事後の精算払いとなります。

8 オーライ！ニッポン大賞事務局（応募先・お問い合わせ先）

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階 まちむら交流きこう内

オーライ！ニッポン大賞事務局 Tel：03-4335-1985 Fax：03-5256-5211

E-Mail：ohrai@kouryu.or.jp WEB：<https://www.kouryu.or.jp/service/ohrai.html>

(参考) オーライ！ニッポン会議事務局（都市と農山漁村の共生・対流関連団体連絡会）の構成団体

(一財)地域活性化センター	(一財)日本青年館
(公財)日本修学旅行協会	(公財)全国修学旅行研究協会
(公財)育てる会	(公財)パブリックヘルスリサーチセンター
(公社)日本青年会議所	日本商工会議所
全国商工会連合会	(一財)伝統的工芸品産業振興協会
(公社)日本観光振興協会	(一財)地域開発研究所
(公財)日本離島センター	(公財)都市計画協会
(公社)日本環境教育フォーラム	全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)
全国森林組合連合会	(公社)全日本郷土芸能協会
(一財)漁港漁場漁村総合研究所	(一財)都市農山漁村交流活性化機構